

令和6年度 延岡市立岡富中学校 学校評価に係る評価書

対象	「4」よくあてはまる 「2」あまりあてはまらない	「3」あてはまる 「1」まったくあてはまらない	学校の現状（○取組内容等／●課題）	学校運営協議会の意見	総合評価		
目標	(1)本校の教育活動は自立と貢献を意識して実施されていたか？	生徒 3.4	保護者 3.0	職員 3.1	○機会ある度に「自立」と「貢献」について話をすることで、教育活動全般において職員・生徒が意識して取り組むことができた。 ●より「自立」と「貢献」を意識した教育活動が実施できるように、全職員で再度理解を図り、生徒たちに考える機会を与えていきたい。	・学年が上がるごとに意識の向上が実施につながっている。 ・継続して取り組んで欲しい。	3.2
生徒に関する質問	(2)学校の約束（時間、服装、きまり等）を守っているか？	生徒 3.5	保護者 3.5	職員 3.0	○校則見直しの取組を通して、ルールを守ることの大切さについて考える機会が多くなった。 ●校則の見直しは、変えることのみ主眼をおきつつあるが、ルールの合理性や許容性を皆で協議することに意味(意義)があることを再度確認していく必要がある。	・交通ルールを守る指導にも力を入れて欲しい。（自転車の2人乗等の生徒が居る） ・生徒自ら考え発案し、改善・改革を進めることで、守るべきルールや変えたいルールを導き出すことは素晴らしい取り組みだと思います。どうして変えたいのか、変えるべきなのか、変えることによる弊害は無いかについて議論して頂きたい。	3.3
	(3)健康に注意した生活を心がけていますか？	生徒 3.3	保護者 3.2	職員 2.9	○「みんなの健康守り隊」が、機会ある度に全校生徒に訴えることができ、意識高揚に努めることができた。 ●感染症対策については、今後も全職員で注意しながら対応していきたい。	・コロナ5類になり感染症対策はやられているが、今後大変でしょうが気を抜かずお願い致します。	3.0
	(4)将来の夢や希望をもって学習に取り組んでいるか？	生徒 3.0	保護者 2.8	職員 3.0	○多方面で活躍されている方々から話をさせていただく場を設定し、キャリア教育の充実を努めた。 ●学年が上がるにつれて、夢や希望がはっきりしてくる生徒が増加する傾向にある。学年相応の、キャリア教育・進路指導を今後も充実させていきたい。	・キャリア教育講演については、保護者へも参加を促してみると良い。 ・キャリア教育やIMOTAKOの発行、ひなた場の取り組み等々、先進的な取り組みがなされており、高く評価出来ます。	3.1
	(5)他の人を大切にしているか？（あいさつも含む）	生徒 3.5	保護者 3.4	職員 2.9	○人権学習・平和学習を計画的に実施し、人権意識の高揚に努めることができた。 ●何も考えずに、心ない言葉を発言する生徒もいるため、今後も継続して人権学習の充実を努めていきたい。	・SNS等で誹謗中傷の情報がありふれた現在、惑わされない様に人権教育も大切ですね。	3.2
	(6)ボランティア活動に参加するなど、主体的に活動していますか？	生徒 2.7	保護者 2.7	職員 3.2	○地域で行われるボランティア活動等に意欲的に参加する生徒の姿が見られた。 ●学年が上がるにつれて、ボランティア活動への参加率が高くなっている。今後も活動への呼びかけを充実させていきたい。	・延小、岡小の児童とのボランティア活動ができると更に良いのでは？ ・一部の活動しか把握できていませんが、代表されるコノハナロードのボランティアや活動報告会での発表など、素晴らしい取り組みが行われていると思います。 ・ボランティア活動の協力は良くやられている。	3.0
	(7)生徒のことを理解して、適切に生徒(生活)指導をしているか？	生徒 3.3	保護者 3.0	職員 3.1	○生徒に寄り添う指導を実践した。今後も、生徒の話をしっかり聞きながら指導を行っていきたい。 ●生徒との対話を通した指導をさらに心がけながら、生徒自身に考えさせ、良い部分を伸ばす指導に努めていきたい。	・不登校の生徒への対応は大変でしょうが彼らの良い部分をみつけて登校しやすい様をお願い致します。	3.1
職員に関する質問	(8)生徒の安心・安全に配慮し、学習しやすい環境を整えているか？	生徒 3.4	保護者 3.0	職員 3.2	○情報モラル教室を実施し、正しいICT機器の活用の仕方について啓発を行うことができた。 ●情報モラル教育にさらに取り組み、ICT機器を活用した学習環境の整備に努めていきたい。	・子供がトラブルに巻き込まれないよう、メディアリテラシーや情報モラル、SNS時代のリスク管理対策等を進めて頂きたい。 ・生徒だけでなく、保護者に対しても情報モラル(SNSトラブル等の対応)についての講話を聞く機会を設定すると良い。	3.2
	(9)熱意をもって生徒の学力向上に取り組んでいるか？	生徒 3.4	保護者 3.0	職員 3.3	○自動採点システム(百問線乱)を活用し、定期テスト等の分析に取り組むことができた。 ●生徒自ら諸検査の分析を行い、自分の苦手分野について主体的に学習することについて、さらに生徒に指導を行っていく必要がある。	・生徒が主体的に取り組む課題の出し方ができていると思うが、保護者への周知・理解がまだまだ徹底できていないように感じる。	3.2
	(10)明るいあいさつなど、気持ちの良い対応をしているか？	生徒 3.4	保護者 3.2	職員 3.4	○常に明るいあいさつや丁寧な対応を心がけるように共通理解を図っている。 ●職員間での共通理解をさらに図りながら、誠実な態度での対応を心がけていきたい。	・恥ずかしいのかわからないが小学生で出来ていたあいさつが中学生は出来なくなってるのが残念。	3.3
	(11)学校の様子を積極的に情報発信しているか？	生徒 3.3	保護者 2.8	職員 2.7	○「マチコミ」メール(一斉メール)やICTを活用し、情報の発信に努めることができた。 ●マチコミやHP等の活用の仕方について検討を深め、さらに情報発信の充実を努めていきたい。	・ボランティア活動や行事等の発信はできているが、日常の活動もっと発信してほしい。	2.8